

		出身	戦後の前職	所属政党 / 所属立候補リスト	経歴
大統領	ジャラルール・アル＝タバーニ Jalal al-Talabani	クルド	統治評議会(GC)、2003年11月GC議長 / 諮問評議会委員(2004年8月) / 国民議会議員(2005年1月)。	PUK党首/[クルド統一リストKA]	PUKはKDPより分派した総合政策会、クルディスタン社会運動、クルディスタン勤労者連盟の合併によって1975年設立。もともとムッラー・ムスタファ・バルザーニのもとでKDPの中心メンバーであったが、1963年に対イラク政府交渉をめぐりバルザーニと対立、1975年にイラク政府による大規模なKDP掃討作戦が実施されてバルザーニ勢力が国外に逃亡して以降、同組織を設立して国内クルド地域におけるクルド運動の実質的な指導者となる。80年代にはフセイン政権とのクルド自治交渉を進めたが、途中決裂。1992年クルド自治政府の設置にKDPと共同歩調をとり、クルド議席の半数を確保。1993年以降クルド・イスラーム運動と武力衝突したことを契機として、1994年以降のKDPとの大規模衝突によってクルド自治政府は機能を停止し、KDPとイラク国軍の共同作戦による攻撃を受けた。湾岸戦争以来一貫して親米姿勢を取り、イラク解放法で支援対象に選ばれるが、イランとも密接な関係を持つ。世俗的で都市知識人に支持層を持つと言われるが、一方で独裁的、親族支配的傾向も指摘される。水資源相のラティーフ・ラシードとは姻戚関係。KA1位。
副大統領	ガーズィー・アル＝ヤウィル Ghazi Ajil al-Yawir	スンナ派、シャマル部族長家、モースル / 46歳	統治評議会(GC)、2004年6月GC議長、暫定政府大統領(2004年6月) / 国民議会議員(2005年1月)。	[イラクユニオン]	サウジの石油鉱物大学、米ジョージタウン大で学ぶ。シビルエンジニア、在サウジHicap echnology社副社長、15年間にサウジ。イラクには6月に帰国。もともとGCの議長団には入っていなかったが、2004年4月、GCの合議で追加的に6月の議長に選ばれた。ファルージャでの停戦交渉で代表として活躍。米軍の駐留に批判的な姿勢を示すものの、一方で「米軍の治安維持は不可欠」との現実的な発言も。政治的な組織への所属はないが、チャラビが彼を推薦したとの説もあり、党派性は不明。大統領就任後、ニスリーン・ムスタファ公共事業相を第二夫人に迎える。イラクユニオン・リストの第1位
副大統領	アーディル・アブドゥルマフディ Adil Abd al-Mahdi	シーア派、バグダード出身 / 1942生	財政相(2004年6月) / 国民議会議員(2005年1月)。	SCIRI政治局代表、同スポークスマン / [イラク統一同盟UIA]	エコノミスト。フランスの大学で政治経済の学位取得。仏イスラム研究所長。雑誌など数々の編集。60年代の一時バース党員だったがその後毛沢東思想に傾倒。69年イラクパスポートを剥奪されフランスに亡命。SCIRIに加盟しイランをしばしば訪れる。92-96年クルド自治地域でのSCIRI代表。2002年12月65人のロンドン会議フォローアップ委員に選ばれる。ファルージャでの旧共和国防衛隊将校起用に強く反対。なおSCIRIは1982年にイラン亡命のシーア派ウラマーを中心にテヘランで成立したイスラーム主義組織で、各イスラーム主義組織の共闘、戦線統一を目的として設立された。UIA第17位
首相	イブラヒーム・ジャアファリ(アル＝ウシャイケル) Ibrahim al-Jaafari (al-Ushaykil)	シーア派、カルバラ出身	統治評議会(GC)、2003年8月GC議長(初代)、暫定政府副大統領(2004年6月) / 国民議会議員(2005年1月)。	ダアワ党党首 / [イラク統一同盟UIA]	モスル大学医学部卒。66年ダアワ党入党。最初イラン亡命。1989年ロンドンへ。ダアワ党ロンドン支部代表。ダアワ党は1950年代のイラク国内での共産党勢力の台頭に対して、ウラマーの危機感が高まる中で1957年に成立したイスラーム主義組織。ムハンマド・パーキル・アル＝サドル師の「イスラーム法学者の指導」思想をその中核とする。フセイン政権時代、党員は自動的に死刑扱ひされた。1999年前後からダマスカス支部、ロンドン支部がイランの影響を嫌ってイラン支部と距離を置くようになり、1998年にはロンドン/ダマスカス派とテヘラン派の対立が激化、専らジャアファリ率いるロンドン支部が国際政治において積極的に発言、共闘姿勢を示すようになった。ただ米国主導の反体制派統合の動きには常に懐疑的で一線を画し、イラク共産党やバース党イラク地域指導部派(在シリア派)などJACで共闘したグループを「真の反体制派」として再共闘の試みを活発に行い、イラク戦争には最後まで反対した。対米公式接触も2002年末と遅い。戦後イラクに帰国、2003年5月に始めて他の親米政党とともに戦後の政権構想に積極的に関与する。医師。UIA第2位
副首相	アフマド・アル＝チャラビ Ahmad al-Chalabi	シーア派、バグダード	統治評議会(GC)、2003年9月GC議長、諮問評議会委員(2004年8月) / 国民議会議員(2005年1月)。	INC議長 / [イラク統一同盟UIA]	MIT卒業。1958年イラクを出国。ペトラ銀行総裁となるが贈収賄罪でヨルダン国内で有罪判決。湾岸戦争後米国防総省の支援を得て1992年イラク国民会議(INC)を結成、議長に。INCの財政運営は特に評判が悪く、しばしば資金援助を打ち切られた。特に米国務省、CIAとの関係は悪く、イラク戦争後は国防総省の支援を失いイランとの接触を疑われて2004年5月に米軍により自宅捜査を強行された。同年8月には逮捕状が発行されている。米支援を失って以降はサドル派ら反米派と接近、2004年6月の統治評議会解散後はシーア派政治評議会を結成してダアワ党やSCIRIなど大政党以外のシーア派政治家の統合に力を見せ、8月の国民大会で一定の影響力を見せた。南部の分離・自治をしばしば公言する。UIA第10位

		出身	戦後の前職	所属政党 / 所属立候補リスト	経歴
副首相	Dr. ローズヌーリ・シッディーク・シャウィーシュ Rowsch SHAWAYS		暫定政府副大統領(2004年6月) / 国民議会議員(2005年1月)。	KDP/[クルド統一リストKA]	96-99年にはKDPクルド自治政府首相。ドイツで工学博士号取得、ドイツのクルド学生連盟議長に。75年帰国、クルド反乱に参加。91年クルド自治政府(KDP,PUK合同)では副首相、99年以降現KDPクルド自治議会議長。KA第2位
副首相	アブド・ムトラク・アルジュブーリ / Abd Mutlaq al-Juburi	スンナ派、ジュブーリ部族			元イラク国軍少将。息子ムトラクを反米抵抗運動のなかで亡くしており、戦後の政治プロセスへの協力に消極的に旧軍勢力に共感を得ているとされる。国民議会選挙後にヤーウィル、パチャーチ、ムスリム・ウラマー機構などの間で設立されたスンナ派共闘派の「国民対話評議会」に参加。
外相	ホシャイル・アル＝ジバリー Hushair al-Zibari	クルド、アクラ出身1953	留任(2003年9月～) / 国民議会議員(2005年1月)。	KDP政治局員/[クルド統一リストKA]	モスルで育つ。76年ヨルダン大学政治学士、79年英工セックス大開発社会学修士。1979年KDP中央委員会、政治局委員に。党首バルザーニーへの政治顧問として筆頭格。1988-2003年KDP国際関係局。1992年INC執行委員、1999年議長メンバーに選出される。英語、アラビア語が堪能。KA第8位
内相	バヤーン・ジャブル Bayan Jabr / (バヤーン・バーキル・ソーラグ Bayan Baqir Solagh)	トルコマン、シーア派、55歳	建設住宅相(2003年9月～2004年6月)	SCIRI / [イラク統一同盟UIA]	70年代バグダード大学工学部在席、エンジニア。イラン亡命後、SCIRI参加。SCIRIシリア支部長として対外広報に尽力、「ニダー・ラフィダイン」編集長。
財政相	アリー・アブドゥルアミール・アッラーウィ Ali Abd al-Amir al-Allawi	シーア派、1947生	貿易相(2003年9月～2004年6月) / 国民議会議員(2005年1月)。	[イラク統一同盟UIA]	1956年イギリスに亡命、世銀コンサルタント経験もあるビジネスマン。ロンドンの投資銀行勤務。ムワッファク・クルバニーの「イラクシーア派宣言」に参加。アフマド・チャラビとは母方の従兄弟、イヤード・アッラーウィ暫定政府首相とは父方の従兄弟。父親は王政時代に保健相を務めた。UIA, 76位。
国防相	サアドゥーン・アル＝ドゥレイミー / Sa'dun Juwayr Farhan al-Mi'jil al-Dulaimi	スンナ派	調査戦略研究センター長(2003年～)		社会科学教授。亡命以前、「社会心理安全保障研究センター」に務める。80年代にイラク国軍予備役として軍役につくが、1986年イギリスに留学して以降政治亡命。帰国後はバグダードで戦略研究センターを立ち上げ、USAIDなど各種の資金援助を得て戦後世論調査を頻繁に実施。アンバール県の名家 Abu-Rishah in Al-Ramadi家出身。2002年ロンドン会議フォローアップ委員会委員。戦後の脱バース党政策に批判的。
農業相	アリー・アル＝バハーディリー / Ali al-Bahadili	シーア派			イスラーム系(サドル派の「ハウザ」紙に寄稿)
通信相	ジュワーン・フアード・マアスム / Juwan Fuad Ma'sum	女性、クルド			フアード・マアスム国会議員(PUK元クルド自治政府首相)の娘か?
文化相	ヌーリー・ファルハーン・ラーウィ / Nuri Farhan al-Rawi	スンナ派		イラク国民統一連合?	元イラク国軍将校か?
移民難民相	スヘイラ・アブド・ジャアファル / Suhayla Abd Ja'afar	女性、シーア派		[イラク統一同盟UIA]	UIA, 219位(当選枠外)。
教育相	アブドゥル・ファラハ・ハサン / Abd al-Falah Hasan	Dr. / シーア派	国民議会議員(2005年1月)。	[イラク統一同盟UIA]	UIA, 124位。

		出身	戦後の前職	所属政党 / 所属立候補リスト	経歴
電力相	ムフサイン・シャッラー シュ / Muhsin SHALASH	シーア派			
環境相	ニルミン・ウスマーン / Nirmin Uthman	女性、クルド	留任(2004年6月)		湾岸戦争後スライマニヤ大学経済経営学部講師。PUKクルド自治政府で2000年労働社会相就任、2001年段階で教育相、2003年段階で高等教育・科学技術相、副首相、その後同政府首相代行。2003年イラク女性の声大会諮問監視委員会メンバー。
保健相	アブドゥルムッタリブ・ム ハンマド / Abdel Muttalib Mohammed Ali	シーア派			サドル派?
高等教育相	サーミー・ムザッファル / Sami Abd al-Mahdi al-Muzaffar	シーア派、バスマ 出身 / 1940	留任(2004年6月) / 国民議会議員 (2005年1月)。	[イラク統一同盟 UIA]	生化学専門、1960年バグダード大学理学士、Virginia Polytechnic Institute博士。67年バスラ大学理学部で教職に、71年助教授、79年バグダード大学生化学教授。2000年までバスラ、バグダード大学で講師。著作業績多数。「イラク化学ジャーナル」などの編集委員。戦後2003年5月に大学内で選出されてバグダード大学総長となる。9月に解任されたが、学生、職員が解任反対のデモ実施。解任理由は、「GCによるバアス党員パーージ要求に十分応えず、大学内再編に反対したため」UIA、8位。
住宅建設相	ジャーシム・ムハンマド・ ジャアファル / Jassem Mohammed JAAFAR	スンナ派			
人権問題相(代行)	ニルミン・ウスマーン				
工業相	ウサーマ・アルジュガイ フィー / Usama al- Jughayfi (Nujaifi?)	スンナ派			名前のジュガイフィーは、ファッルージャ市内の反米抵抗活動の最激戦区の地区名と同じ。ファッルージャの出身か?
法相	アブドゥル＝フセイン・ シャンドル(ウライヤ ン) / Abd-al-Husayn Shandal Isa Muhsin al- Ulayyan	シーア派			判事。2003年8月GCにより憲法制定のための制憲会議メンバーを選定する準備委員会メンバーに任命。
労働社会問題相	イドリース・ハーディ / Idris Hadi	クルド	2004年高等教育省 副大臣	KDP系	湾岸戦争後クルド議会議員。1999年クルド自治政府の人権・苦情委員会に任命。
石油相	Ibrahim Muhammad Bahr al-Ulum / イブ ラヒム・バハルウル ーム	シーア派、ナジャ フ出身、50歳	石油相(2003年9月 ~2004年6月)		バグダード大学石油鉱物工学士、ニューメキシコ大石油工学修士、91年同ニューメキシコ大石油工学博士。石油工学分野、石油ガス油田開発分野に経験豊富。クウェイト石油省勤務(1976-82)。ルメイラ油田やニューメキシコの石油リカバリー調査センターで勤務経験あるも、イラク国内の石油テクノクラートとうまくやっていけるかどうか、未知数。92年以降はロンドンでDuke Engineering corp (Houston)などの石油会社のコンサル務める。ロンドンのホイ財団による「シーア派プロジェクト」中心メンバー。イラク帰国は2003年5月。米の民営化方針に賛成。GC委員でシーア派ウラマー、ムハンマド・バハルウルームの息子。バハルウルーム家はナジャフでは伝統的なウラマー家。2003年10月に暗殺未遂。
計画相	ブルハン・サーリフ / Burhan Ahmad Salih	クルド / 1960	副首相(2004年6月) / 国民議会議員 (2005年1月)。	PUK政治局員(91 年~) / [クルド統一 リストKA]	Cardiff大学で工学学士号、リバプール大学で統計・コンピューター博士号取得、シビル・エンジニア。イギリスで教育を受ける。76年PUK参加。二度フセイン政権下で逮捕歴あり。79年イラクを離れPUKスポークスマン、91年以降クルド自治政府の駐米代表を務め対米関係良好。2001年以降スライマニヤのクルド自治政府首相を務める。2002年4月アンサール・イスラームによる暗殺対象となった経験あり。KA7位

		出身	戦後の前職	所属政党 / 所属立候補リスト	経歴
公共事業相	ニスリーン・ムスタファ・シッディーク・アル＝ブルワーリー / Nisrin Mustafa Siddiq Burwari	女性、クルド、バグダード出身、1967生	留任(2003年9月～) / 国民議会議員(2005年1月)。	[クルド統一リスト KA]	14歳の時から投獄経験あり。バグダード大学建築工学部卒、ハーバード大学の学位あり、米国の諸機関に務める。1991年にクルド地域に移動しUNHCRに勤務。クルド自治政府では復興担当など閣僚歴任。イラクの将来計画参加/KA3位
科学技術相	バースィマ・ユースフ・ブトルス / Basima Yusuf BUTROS	キリスト教徒			
観光・遺跡相	ハーシム・アル＝ハーシミ / Hashim (Hashim Hammadi Isa) al-Hashimi	スンナ派		[イラク統一同盟 UIA]	UIA, 145位(当選枠外)。
貿易相	アブドゥル・バースィト・マウルード / Abd al-Basit Mawlud	クルド			
運輸相	サラーム・アル＝マリーキー / Salam al-Maliki	シーア派	2004年バスラ副知事 / 国民議会議員(2005年1月)。	サドル派政治局員。[イラク統一同盟UIA]	故ムハンマド・サーディク・サドル事務所バスラ支部代表。/UIA, 38位。
水資源相	アブドゥル＝ラティフ・ラシード / Abd al-Latif Rashid	クルド	留任(2003年9月～)		PUK政治局員、ロンドン支部代表。元INC執行委員会副議長。PUK党首タラバーニと親戚関係
青年スポーツ相	ターリブ・アジーズ / Talib Muhsin Aziz	シーア派		[イラク無所属ブロックIIB]	IIBは在英元アラブ・ナショナリストで元バグダード大学政治学部教授のガッサーン・アティーヤの形成した立候補リスト。全57人中同13位だが当選者はなし。都市と地方部の連携を主張、内戦の回避を重視。
市民社会担当国務相	アラール・ハبيب・カーズィム / Ala Habib Kazim	シーア派		[イラク統一同盟 UIA]	UIA, 223位(当選枠外)。サドル派?
国会担当国務相	サラーフ・アッディーン・アル＝サーフィ / Salah al-Din al-Safi	シーア派			
国家安全保障担当国務相	アブドゥル＝カリーム・アル＝アンズィー / Abd al-Karim al-Anzi	シーア派	諮問評議会委員(2004年8月) / 国民議会議員(2005年1月)。	ダアワ党イラク機構事務局長[イラク統一同盟UIA]	2002年ダアワ党イラク機構政治局員としてテヘランに滞在。2004年4月の米軍とサドル派の武力衝突ではCPAとサドル派の調停団として活躍。諮問評議会苦情・地方問題委員会委員長/UIA, 23位
地方部担当国務相	サアド・ナーイフ・アル＝ハルダーン / Sa'd Na'if Mish'an al-Hardan	スンナ派(シーア派?) ドゥレイミー部族出身、48歳	諮問評議会委員(2004年8月)		2005年2月イタリア紙の報道によれば、「ドゥレイミー部族の中心的人物。アンバール県の他の反米部族勢力と異なり、秘密裏に新体制参加の交渉を行っている部族指導者やウラマーのひとり」
女性担当相	アズハル・アル＝シャイフリー / Azhar al-Shaykhly	女性、スンナ派			

		出身	戦後の前職	所属政党 / 所属立候補リスト	経歴
国民議会議長	ハージム・アル＝ハサニ / Hajim al-Hasani	スンナ派トルコマン、1954年キルクーク出身	統治評議会財政委員会副委員長 / 工業相(2004年6月) / 国民議会議員(2005年1月)。	[イラキユーン] / イラク・イスラーム党政治局兼スポークスマン	モスル大学卒。79年渡米しネブラスカ大学で国際貿易学び、コネティカット大学で産業組織に関する博士号。インターネット会社経営。各種NGOの理事。2002年12月ロンドン会議フォローアップ委員に選ばれる。ファッルージャでの停戦交渉にGC側代表として参加。2004年11月のファッルージャ掃討作戦を巡ってイラク・イスラーム党が暫定政府から離脱すると、党を離れ閣内に残った。選挙ではヤーウィルのリスト「イラキユーン」から立候補。同党第二位。
国民議会副議長	フセイン・イブラヒム・アル＝シャフラスターニ / Husayn Ibrahim Salih al-Shahrastani	Dr. / シーア派		[イラク統一同盟UIA]	原子力科学者。フセイン政権期にイラク原子力委員会(IAEA)の幹部、同委員会委員長科学顧問。核開発を秘密裏に命じられて拒否、1979-1991年アブグライブ刑務所に収容。湾岸戦争後の全国暴動で脱獄、イランに亡命、その後英国に移住。戦後帰国してイラク難民救済協会会長に。シスターニ側近として2004年5月、主権移譲時に首相候補に名前が挙がる。同年11月にはシスターニ代表として、シスターニ事務所から国会選挙に向けたシーア派政党調整委員会の一人に任命される。UIA, 7位。
国民議会副議長	アーリフ・タイフル / Arif Tayfur Arif	クルド	諮問評議会委員(2004年8月) / 国民議会議員(2005年1月)。	KDP、1999年以降中央委員 / [クルド統一リストKA]	2004KDPクルド・アラブ化対策高等委員長。KA10位